

英米言語研究Ⅱ(その1)

2 units 3rd-year(1st semester)

Yoshio Motoki . , Hitoko Yamada · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target) イギリス史と関連させながら古期・中期英語を中心に現代までの英語の歴史を通観する。

Outline) 英語史研究

Keyword) ノルマン・コンケスト, ラテン語, 語源

Relational Lecture) “英米言語研究Ⅰ(その1)”(0.5), “英米言語研究Ⅰ(その2)”(0.5)

Goal)

1. 英語は古いところでは現代のドイツ語と同じような語尾変化をし、時代が下ると共に次第に語尾が消失し、今日のような語順を大切にする言語となった。また語彙においては、全体として、比較的純粋なゲルマン語彙から、ノルマン・コンケストを契機にロマンス語彙を増大してゆき、今日に見るような語彙の豊富さを獲得していった。
2. 以上のような英語の歴史について理解を深める。

Schedule) 前期は専ら英語史の概説に重点を置き、後期は具体的にラテン語、古期・中期英語の文法を教科書を使用しながら詳述する。

Evaluation Criteria) レポート及び期末試験。

Re-evaluation) 行なう。

Textbook)

- ◇ 教科書: Sweet's Anglo-Saxon Primer 千城
- ◇ 松平千秋・国原吉之助共著 新ラテン文法 東洋出版
- ◇ 参考書: Albert C. Baugh: A History of the English Language

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218376>

Contact)

⇒ Motoki . (Office Hour: 金曜日 14:30~ 15:30)

⇒ Yamada (hitokoy@yahoo.co.jp) MAIL (Office Hour: 木曜日 10:20~11:20)